西東京の教育

市ホームページアドレス
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/

平成27年（2015年）2月15日発行　第66号

＝発　　行＝
西東京市教育委員会
〒202-8555
西東京市中町1-5-1
電話　042-464-1311
＝編　　集＝
西東京市教育委員会
教育部教育企画課

研究指定校発表会

西東京市の研究指定校は、授業公開や研究発表会を行い、その成果や課題などの報告を積極的に行っています。

谷戸第二小学校

運動の楽しさを体感し、意欲的に取り組む体つくり運動
～できる・かかわりあう・工夫する楽しさを味わわせる授業づくり～

○低・中・高学年ごとの年間指導計画を基に、児童の発達段階や実態に即した単元計画を作成し、体育科における体つくり運動の研究を進めました。

○児童の運動意欲を高め、「できる」「かかわり合う」「工夫する」をテーマに、楽しさが体感できる運動となるよう教材や教具を工夫するとともに、単元の展開にストーリー性を持たせたり、運動をゲーム化したりしました。

○児童が見通しを持って運動に取り組むことができるよう、児童の発達段階に応じて、一単位時間内に共通の学習過程を設定しました。

○「褒める・認める」「挑戦を励ます」「他者とつなげる」「思考・判断を促す」という観点から、児童の運動意欲の向上を図ることができるよう、児童の実態に応じた言葉かけを工夫しました。

体育科教育の充実を目指した研究授業の様子

○今後は、児童が生涯にわたって、主体的に運動に取り組もうとする資質や能力を育むために、体育教育のさらなる充実を図っていきます。

本町小学校

科学的な見方・考え方を身に付ける理科・生活科授業の創造

○生活科においては、児童の気付きの質を高めるため、自然の事物の事象との触れ合いを大切にし、普段の生活の中で出合ってきた事象にも新しい発見があることを児童が実感することができる授業を充実させました。

○理科においては、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図るため、科学的な見方や考え方を養う授業に関する研究を行いました。

○また、観察・実験の目的を明確にし、体験活動を多く取り入れるとともに、観察・実験において全ての児童が自ら操作し、考える機会を設けることができるよう、複数の教員による授業を行いました。

○授業中の話し合い活動を積極的に取り入れ、実験の結果やその結果から考えたことを比較・関連付けたり、分類したりしながら結論を導き出していく取組を充実させました。

理科教育の充実を目指した研究授業の様子

○児童の学習ノートを評価したり、ノート作成のポイントを提示したりすることで、児童に思考の深まりを意識させる取組を行いました。

○今後も、理科・生活科の学習で体験的な活動を多く取り入れた課題解決的な学習を充実させながら、児童の思考が深まる授業を研究していきます。

田無第四中学校

すべての生徒を生かす指導の工夫
～個々のニーズに応じた教育支援のあり方～

○ユニバーサルデザインの考え方を取り入れて、全ての生徒に分かりやすい授業を行うために、教員一人一人が、普段工夫していることについて紹介し合いました。その中から、全教員で共通理解を図りながら取り組む内容について確認しました。

○授業のユニバーサルデザイン化について、講師を招いた研修会を行い理解を深めました。

教員が机間指導を行う様子

また、研修で学んだ内容について、研究授業を通して実践し、その効果について検証しました。

○学習指導案を作成する際には、生徒の状況からどのような支援を行うことが効果的であるか、どのような指導方法が適しているか等について、個別に検証しました。

○生徒がつまずくと思われる場面や事柄を予測し、それらが起きないように、支援や個別の手だてを考えるなど、教員間で活発な意見交換が行われました。

○授業のユニバーサルデザイン化に取り組むことで、生徒に教える授業から、生徒に考えさせる授業への転換を図ることができました。

○本研究を通して、各教員が自らの授業スタイルを振り返り、授業の組み立て方を見直すことができたことは、大きな成果であると考えます。

◆教育指導課
042（438）4075

縄文時代の大集落 下野谷（したのや）遺跡が国史跡に！

平成26年11月21日、国の文化審議会から文部科学大臣に対し、「下野谷遺跡」を国の史跡に指定するようにとの答申がなされました。これを受け、今年度内に出される国の官報告示をもって、正式に下野谷遺跡が国の史跡となります。

下野谷遺跡は、西武新宿線東伏見駅南口から徒歩7分程度の、石神井川を崖下に見下ろす高台にあります。古くから縄文土器などが見つかることで知られており、その後の発掘調査などで、今から4～5千年前の、南関東では最大級となる縄文時代の集落が良好な状態で保存されていることが分かりました。

市では、平成19年に遺跡の一部に「下野谷遺跡公園」を整備して遺跡を地下に保存するとともに、「縄文の森の秋まつり」など、市民協働での遺跡を活用した事業を継続して行い、遺跡の周知に努めてきました。

平成26年7月には、東京都を通し、史跡指定の意見書を提出し、国の専門調査会で審議がなされました。このたびの答申では、下野谷遺跡公園を含む周辺の市有地・国有地が指定される予定です。

国の史跡に指定されるということは、遺跡の中でも特に重要な文化財であると認められたことになります。今後は、貴重な国民の文化遺産として、下野谷遺跡を大切に保護していくと同時に、貴重な西東京市の財産として、まちづくりなどに生かしていきます。

しーた　のーや
©T&K/ 西東京市

下野谷遺跡公園

下野谷遺跡展の様子

◆社会教育課
042（438）4079

教育長から

このたびの答申に関し、これまで、下野谷遺跡の保存や活用にご尽力いただいた皆様、ならびにこのたびの指定に向けた取組の中で、ご協力、ご指導をいただきました多くの関係者の皆様に深く感謝いたします。

教育委員会といたしましては、今後もこの貴重な国民の文化遺産を大切に保護するとともに、西東京市の学校教育、生涯学習に役立て、未来の子どもたちにつなげていけるよう、取り組んでまいります。

教育長　江藤　巧

「西東京の教育」を読んでのご意見・ご感想はこちらまでお寄せください。（〒 202-8555 西東京市中町 1-5-1 西東京市教育委員会教育企画課）